ひきこもりの人等の個々の状態に応じた支援の流れ

議事資料２

市町村における ひきこもり把握状況（令和元年12月調査）

○ひきこもりの人を把握しているか？
- 把握している　3市町村/　9人
- ある程度把握　23市町村/ 426人
- 把握していない　8市町村

Ａ自治体の分析結果

○ひきこもりとなったきっかけ
不登校：31.3%、職場関係：63.8%
- ○ひきこもり平均年数　15.8年
- ○発見までの平均経過年数　7.7年
- **○何らかの診断のある者の割合　56.3%**
- **○障害者手帳の所持者の割合　42.5%**

発見・訪問支援（アウトリーチ）

相談支援

ひきこもりの状態像

- **状態１**・対人恐怖などを抱え、全く接触できない
- **状態２**・特定の人であれば接触可能
- **状態３**・対人接触が苦手コミュニケーション不全
- **状態４**・一定の枠組みの中でコミュニケーション可能
- **状態５**・日常的なコミュニケーションが可能

ひきこもりの原因

○**本人要因**
身体的疾患、身体障害、知的障害、発達障害、趣味、コミュニケーション不全、学力不振、業績不振、非行

○**家族要因**
虐待、両親の離婚、家庭不和

○**社会要因**
いじめ、ハラスメント、就職活動での挫折、周囲からの不適切な支援

○**経済要因**
経済的に困窮、経済的に安定（現状で満足）

極めて高い個別性

多重的・重層的アセスメント

居場所参加

中間的就労

就労支援

就労

医療・医療サービス

多機関による支援が不可欠

社会参加に向けた支援

地域のケース会議による個別支援の検討、伴走型支援の継続

予防	発見	相談	支援
ゲートキーパー（民生・児童委員等／職場等）	地域での見守りや職場等でのメンタルヘルス対策の推進	市町村等など相談支援窓口へのつなぎ	地域や職場での見守り
生活困窮者自立相談支援機関	アウトリーチ	ワンストップ型支援（支援プラン作成）	就労準備支援　③　家計改善支援　等
市町村・保健所	ひきこもりの把握 ①	アウトリーチ　相談支援　②　支援機関へのつなぎ	フォローアップ・ＰＤＣＡサイクルによる支援
医療機関（精神科等）	診察・カウンセリング		デイ・ケア、居場所　③
障害福祉サービス事業所	支援員による個別相談・アセスメント		軽作業の提供、就労移行支援事業　②
ひきこもり地域支援センター	相談支援（来所954件・電話119件） 支援機関へのつなぎ 市町村等向け事例検討会の開催 ケース会議での助言・指導　②		ネットワークの強化（支援者連絡会（３回・41機関）・地域交流会（３回・210人）） 人材養成研修会（３回・63人）の開催、ケース検討、勉強会、課題整理・検討等（11市町村等21回）　② 居場所づくり(青年期の集い（52回）・家族サロン（９回参加)、ピア活動支援（個別相談同席２回・２件） 社会体験事業（ボランティア活動・就労体験）の実施（2人・4回）　③
若者サポートステーション	相談支援（のべ10,870件）支援機関へのつなぎ(40人)		進路相談、就職に向けたサポート・セミナー、職場体験、進学・復学サポートなど　④
家族会等、ひきこもりピアサポートセンター		当事者の親及びピアサポーターによる個別相談	家族支援、居場所（４箇所）の運営、月例会（毎月開催）・家族サロン（８回）・交流会の開催　③
療育福祉センター（発達障害者支援センター）	相談支援、支援機関へのつなぎ		当事者・家族・支援機関へのサポート、人材育成研修会、市町村の体制づくり支援　②
就労準備（ひきこもり者等就労支援コーディネーター）	就労の前段階からの支援		個別支援プログラムによる訓練、相談支援（相談、体験17件）、高知市内１箇所　④
就労訓練（中間的就労）	個別相談（県社協・認定就労訓練事業所）		状況に応じた就労訓練（非雇用型）　高知市内４箇所（０件）、高知市以外６箇所（０件）（謝金なし）　④
就労体験（企業、農家等）	個別相談		「仕事体験拠点」を活用した就労体験（体験延べ33人、企業４箇所、作業所８箇所、農家４箇所）　④
ハローワーク		職業紹介	チーム支援（個別支援計画策定）、トライアル雇用（４万円/月）、特定求職者雇用開発助成金（60万円/年）　④

現状における課題点
①ひきこもりの実態把握
②相談支援の強化
③居場所等の確保
④社会参加に向けた支援